

令和 7 年 度 当 初 予 算

主 要 事 業 の 概 要

人づくり・県民生活部

人づくり・県民生活部 令和7年度当初予算総括表

一般会計

(単位:千円)

款	項	令和6年度 当初予算 A	令和7年度 当初予算 B	財 源 内 訳				増減額 B-A	伸率(%) B/A
				国支出金	地方債	その他	一般財源		
5款 生活労働費	1項 県民生活費	7,060,236	6,930,391	332,927	1,070,600	449,568	5,077,296	△ 129,845	98.2
10款 教育費	8項 大学費	5,195,983	5,932,860	0	1,345,300	0	4,587,560	736,877	114.2
	9項 私立学校費	57,492,661	59,716,530	22,531,436	310,200	1,202	36,873,692	2,223,869	103.9
	10項 青少年費	295,748	369,246	9,413	0	18,518	341,315	73,498	124.9
	小 計	62,984,392	66,018,636	22,540,849	1,655,500	19,720	41,802,567	3,034,244	104.8
合 計		70,044,628	72,949,027	22,873,776	2,726,100	469,288	46,879,863	2,904,399	104.1

令和7年度当初予算（案）における主な事業の概要

人づくり・県民生活部
(単位：千円)

課名	科目			新規 継続	事項名	本年度 予算額	事業の概要	前年度 予算額																				
	款	項	目																									
文化振興課	5	1	2	新規	福岡県アーツカウンシル （仮称）設立準備費	11,709	1 目的 令和8年度の4年制音楽大学の開設、令和11年度の新県立美術館開館を見据え、福岡県アーツカウンシル（仮称）の設立に向けた検討を開始するとともに、若手芸術家の多様な文化芸術活動を支援し、福岡県の文化芸術の発展に貢献する担い手の育成・確保を図る。 2 内容 （1）福岡県アーツカウンシル（仮称）設立に向けた検討2,701 福岡県アーツカウンシル（仮称）の設立に向けた検討委員会の設置・運営 アーツカウンシルの設立意義・機能・組織体制、アーツカウンシルと文化行政の役割分担等について検討 （2）新進気鋭の芸術家育成 ①継続的な若手芸術家の活動支援5,913 ・旧上庄小レジデンスプログラム参加者による展覧会を開催 ・東峰村・添田町AIR事業参加者、アクロス福岡で育成した若手芸術家による演奏会を開催（※R8からは、九州交響楽団との共演を実施） ②国内ステップアップ助成1,548 ・県内在住または出身の若手芸術家が実施する国内での展示・公演・上映等の活動に係る経費を助成。 ③海外チャレンジ助成1,547 ・県内在住または出身の若手芸術家、美術関係者（キュレーター等）による海外の芸術コンクール・コンテストへの参加、研修受講、展示発表、レジデンスへの参加等に係る経費を助成。	0																				
【アーツカウンシルとは】 助成を基軸に、行政組織と一定の距離を保ちながら、文化政策の執行を担う専門機関で、専門家による助言、育成支援、情報発信等の機能を有する。 【スケジュール】 <table><tr><th></th><th>R7</th><th>R8</th><th>R9</th></tr><tr><td>検討委員会</td><td> </td><td></td><td></td></tr><tr><td>設立準備委員会</td><td></td><td> </td><td></td></tr><tr><td>アーツカウンシル</td><td></td><td> 設立準備 専門人材の雇用 組織体制の整備 </td><td> 設 立 </td></tr><tr><td>育成支援・助成事業</td><td> 委員会の助言に基づき、県が直営で実施 </td><td></td><td> アーツカウンシルが実施 </td></tr></table>										R7	R8	R9	検討委員会				設立準備委員会				アーツカウンシル		設立準備 専門人材の雇用 組織体制の整備	設 立	育成支援・助成事業	委員会の助言に基づき、県が直営で実施		アーツカウンシルが実施
	R7	R8	R9																									
検討委員会																												
設立準備委員会																												
アーツカウンシル		設立準備 専門人材の雇用 組織体制の整備	設 立																									
育成支援・助成事業	委員会の助言に基づき、県が直営で実施		アーツカウンシルが実施																									

令和 7 年度当初予算（案）における主な事業の概要

人づくり・県民生活部
(単位：千円)

課 名	科 目			新規 継続	事 項 名	本年度 予算額	事 業 の 概 要	前年度 予算額
	款	項	目					
男女共同 参画推進課 女性活躍 推進課	5	1	2	新規	ジェンダー平等 推進プロジェクト費	17,250	1 目 的 経営者や市町村、県民に対し、ジェンダー平等に向けた気付き、取組を促すことにより、誰もがその個性や能力を発揮できる福岡県を目指す。 2 内 容 (1) 若手経営者による女性活躍推進ワークショップ開催 5,332 女性が活躍できる企業経営を中小企業に広げていくため、若手男性経営者を主な対象とするワークショップを開催し、所属団体や行政への提案につなげるとともに、自社での実践を促進。 〔参加者〕 企業経営者等で組織する団体に所属する若手経営者 25 名 〔回 数〕 4 回 (2) 自治会長への女性の登用を推進するための市町村の取組支援 2,211 ・自治会長の会合等で自治会長への女性の登用にあたった障壁についてアンケートを実施。 ・実施結果を集計・分析し、地域ごとに必要な取組について報告書として取りまとめ、市町村への共有、対応への働きかけを実施。 (3) ジェンダー平等に関するフォトメッセージ・動画の募集 9,707 ・ジェンダーギャップの実例や解消のためのアクション（R7年度テーマ「『とも家事』の推進」）に関するフォトメッセージや動画を募集し、優秀作を表彰。 ・受賞作や応募作を利用した啓発を実施。	0

令和7年度当初予算（案）における主な事業の概要

人づくり・県民生活部
(単位：千円)

課名	科目			新規 継続	事項名	本年度 予算額	事業の概要	前年度 予算額									
	款	項	目														
女性活躍 推進課	5	1	2	新規	社内から福岡を元気に！ 福岡BOARD倶楽部事業費	4,561	1 目的 女性役員候補者の人脈形成及び企業経営層の意識改革を図るフォーラムを開 設し、企業経営に深く関わる社内取締役への女性登用を促進する。 2 内容 女性の企業経営層参画を促すフォーラム「福岡BOARD倶楽部」の開設 [開催] 福岡市内で全4回（3か月に1回） [参加者] 企業から推薦を受けた女性役員候補者 20名 [構成案] <table><tr><th></th><th>開催 時期</th><th>内 容</th></tr><tr><td>第1回</td><td>11月</td><td>発足式を兼ねて、県内企業経営層50名程度も参加 ・有識者からの基調講演 ・経済団体トップからのメッセージ ・企業経営層との交流会</td></tr><tr><td>第2回 第3回 第4回</td><td>2月 5月 8月</td><td>・県内企業経営者や女性役員によるリレー履歴書トーク ・企業経営層との交流会</td></tr></table> ※ 令和7年度当初予算では、第1回（11月）、第2回（2月）の費用を計上		開催 時期	内 容	第1回	11月	発足式を兼ねて、県内企業経営層50名程度も参加 ・有識者からの基調講演 ・経済団体トップからのメッセージ ・企業経営層との交流会	第2回 第3回 第4回	2月 5月 8月	・県内企業経営者や女性役員によるリレー履歴書トーク ・企業経営層との交流会	0
	開催 時期	内 容															
第1回	11月	発足式を兼ねて、県内企業経営層50名程度も参加 ・有識者からの基調講演 ・経済団体トップからのメッセージ ・企業経営層との交流会															
第2回 第3回 第4回	2月 5月 8月	・県内企業経営者や女性役員によるリレー履歴書トーク ・企業経営層との交流会															

令和7年度当初予算（案）における主な事業の概要

人づくり・県民生活部
(単位：千円)

課名	科目			新規 継続	事項名	本年度 予算額	事業の概要	前年度 予算額																												
	款	項	目																																	
スポーツ 企画課	5	1	2	新規	国際大会開催による 地域・スポーツ活性化費	342,342	1 目的 BMX、クライミング、ブレイキンの国際大会開催を支援することで、子どもたちが夢や希望を育み、県民がスポーツへの関心を高めるなど、競技力向上やスポーツ振興につなげるほか、大会開催を契機として本県の魅力を世界に発信する。	0																												
							2 内容 (1) 大会運営費負担金 330,000 ・大会運営に対する支援																													
							＜大会概要＞																													
							<table><tr><td>大会名称</td><td>アジア BMX 選手権</td><td>IFSC クライミング グランドファイナ ルズ福岡 2025</td><td>WDSF 世界ブレイキン 選手権 2025 久留米</td></tr><tr><td>開催期間</td><td>9 月 14 日～15 日</td><td>10 月 22 日～26 日</td><td>12 月 12 日～14 日</td></tr><tr><td>参加国数</td><td>10 か国</td><td>20 か国</td><td>36 か国</td></tr><tr><td>観客数</td><td>1,000 人</td><td>5,000 人</td><td>3,000 人</td></tr><tr><td>会場</td><td>筑後広域公園</td><td>ザ・リトリート</td><td>久留米アリーナ</td></tr><tr><td>県負担金 (総事業費)</td><td>20,000 (40,000)</td><td>150,000 (360,000)</td><td>160,000 (370,000)</td></tr><tr><td>特徴</td><td>日本初開催</td><td>健常者、障がい者 大会の同時開催は 日本初</td><td>日本初開催</td></tr></table>		大会名称	アジア BMX 選手権	IFSC クライミング グランドファイナ ルズ福岡 2025	WDSF 世界ブレイキン 選手権 2025 久留米	開催期間	9 月 14 日～15 日	10 月 22 日～26 日	12 月 12 日～14 日	参加国数	10 か国	20 か国	36 か国	観客数	1,000 人	5,000 人	3,000 人	会場	筑後広域公園	ザ・リトリート	久留米アリーナ	県負担金 (総事業費)	20,000 (40,000)	150,000 (360,000)	160,000 (370,000)	特徴	日本初開催	健常者、障がい者 大会の同時開催は 日本初	日本初開催
							大会名称		アジア BMX 選手権	IFSC クライミング グランドファイナ ルズ福岡 2025	WDSF 世界ブレイキン 選手権 2025 久留米																									
							開催期間		9 月 14 日～15 日	10 月 22 日～26 日	12 月 12 日～14 日																									
							参加国数		10 か国	20 か国	36 か国																									
							観客数		1,000 人	5,000 人	3,000 人																									
							会場		筑後広域公園	ザ・リトリート	久留米アリーナ																									
							県負担金 (総事業費)		20,000 (40,000)	150,000 (360,000)	160,000 (370,000)																									
特徴	日本初開催	健常者、障がい者 大会の同時開催は 日本初	日本初開催																																	
(2) 本県の魅力発信、子どもたちに対するスポーツの魅力発信 12,342 ・大会会場周辺で、本県の食、観光、移住定住、ワンヘルスPRブースの設置 ・県産花きによる大会会場の装飾やビクトリーブーケの贈呈 ・ワンヘルス認証農林水産物PR ・小学生観戦招待 ・小学校、中学校へのトップアスリート訪問による指導教室																																				

令和7年度当初予算（案）における主な事業の概要

人づくり・県民生活部
(単位：千円)

課名	科目			新規 継続	事項名	本年度 予算額	事業の概要	前年度 予算額
	款	項	目					
私学振興課	10	9	2	継続	私立学校振興対策費	59,708,438	1 目的 私立学校における教育条件の維持向上、保護者の負担軽減及び学校経営の健全性を高めるために助成を行う。 ・私立幼稚園、小中学校、高等学校運営費補助金により、経常的経費に対する補助を行い、私立学校教育の振興を図る。 ・私立高等学校就学支援金及び奨学給付金により、私立高等学校の授業料等に対する支援を行い、保護者の負担軽減を図る。 ・私立専門学校授業料等減免補助金により、専門学校の授業料等減免に対する支援を行い、保護者の負担軽減を図る。 ・私立学校施設の耐震化工事や、設備に対する補助を行う。 2 内容 ○ 私立幼稚園運営費補助等 12,333,083 ○ 私立小中学校運営費補助等 3,400,709 ○ 私立高等学校運営費補助等 22,253,643 ○ 私立高等学校等就学支援金交付金 14,221,031 (うち 新 高校生等臨時支援金 1,781,325) ○ 私立高等学校等奨学給付金事業費 1,167,115 (うち 拡 専攻科の生徒への支援 11,399) ○ 私立専門学校授業料等減免補助金 5,787,159 (うち 拡 多子世帯への支援 2,556,302) ○ 私立専修各種学校補助金等 191,156 ○ 私立学校耐震化促進費 310,285 ○ 不登校・中途退学対策事業費 32,534 ○ 私立学校等ワンヘルス教育推進費 11,723 ・私立高等学校におけるワンヘルス教育の推進 5,238 ・ 新 私立小・中学校におけるワンヘルス教育の推進 2,978 ・ 新 幼児期におけるワンヘルス教育の推進 3,507	57,484,772

令和7年度当初予算（案）における主な事業の概要

人づくり・県民生活部
(単位：千円)

課名	科目			新規 継続	事項名	本年度 予算額	事業の概要	前年度 予算額
	款	項	目					
青少年 育成課	10	10	1	継続	未来子どもチャレンジ 応援プロジェクト費	258,445	1 目的 市町村、企業、団体等の様々な主体と連携し、県内各地において、子どもたちに成長段階に応じた切れ目ない体験活動の場を提供し、「多様性を理解し、他者と協働しながら、自分軸を持ち、未来を切り拓く」青少年を育成する。 2 内容 (1) 体験活動の推進及び啓発強化 126,133 - 市町村への補助、体験活動を行う企業等の登録制度及び体験プログラムを企画するコンサルタント派遣を実施し、様々な主体による体験活動を推進 - 新 体験活動情報を分かりやすく一元的に提供するとともに、コンテンツを充実させたホームページを構築 幼児・小学生向け、中高生向けページの開設 体験活動の参加者の声を収集し、発信 おしごと体験動画の発信 HPで活動するマスコットキャラクターを小中学生が作成 (2) 成長段階に応じた体験活動機会の充実 111,684 - 新 幼児・学童期の子どもたちに、ものづくりやお仕事体験等を提供するフェスタを各地域で実施 - 新 「スマホに頼らない乳幼児期の遊び方講座」の講師を育成 - 中学生を対象に、市町村と連携した地域リーダーを育成する「未来の地域リーダー育成プログラム」を実施 - 新 県主催の宿泊型のキャンプ「ふくおか地域リーダー育成キャンプ」を実施 - 社会課題の解決等にチャレンジしたい高校生を対象に、専門家のアドバイスや資金援助を行う「未来をつくる高校生チャレンジ応援事業」を実施	170,229

							(3) グローバル人財の育成 20,628 ・新未就学児・小学生（低学年）を対象に、留学生と世界の遊びや交流体験を行う「キッズ国際交流体験事業」を実施 ・新渡航経験のない小学生（高学年）、中学生を対象に、ホームステイや多文化交流を行う「はじめての海外体験事業」を実施 ・オックスフォード大学、ハーバード大学等の学生を招き、高校生と寝食を共にし、自分の将来や世界の未来について議論する「福岡未来創造キャンプ」を実施	
--	--	--	--	--	--	--	--	--

令和7年度当初予算（案）における主な事業の概要

人づくり・県民生活部
(単位：千円)

課名	科目			新規 継続	事項名	本年度 予算額	事業の概要	前年度 予算額
	款	項	目					
警察本部 執行委任分 青少年 育成課	9	2	1	新規	警固界限のこども・若者を守る事業費	30,981	1 目的 警固公園に集まるこども・若者一人ひとりの背景にある課題を解消し、緊急的避難場所や福祉サービス等へつなげる。 2 内容 警固公園に集まるこども・若者に対して、民間団体と連携し、アウトリーチ支援等を実施 (1) アウトリーチ支援 警固公園内での声掛け・相談、夜間相談窓口への案内 (2) 夜間相談窓口 飲食の提供等により安心して相談できる体制を構築し、緊急的避難場所・福祉サービス等へのつなぎを実施 (3) SNS相談窓口 アウトリーチ支援を行った者へのフォローアップとして、LINE相談を実施 ※警察本部、福祉労働部との連携事業 ○警察本部の取組 ・SNS等を通じた被害防止・犯罪加担防止のため、啓発動画の作成やターゲティング広告を実施 ・警固界限に関する情報共有や課題解決の体制を確保するため、「警固界限のこども・若者を守る協議会」を設置 ・精神的に不安定なこども・若者等を対象とした、病院への付き添いサポートや心理検査等の費用助成 ○福祉労働部（こども福祉課）の取組 ・緊急的な避難場所を必要とするこども・若者を対象とした、こども・若者シェルターの設置・運営	0